

育休を取得する男性社員をサポートする「KODOMOLOGYイクトレ」を開始しました

2022/4/8

KODOMOLOGYは、2022年4月から男性社員向けの体験型育休トレーニング(KODOMOLOGYイクトレ)のサービスを開始します。KODOMOLOGYイクトレは、資生堂グループの社員からとったアンケートからニーズの高かったテーマを中心に、5つのプログラムで構成しています。

2022年4月1日から、男性の育休取得についての新たな法制度が段階的に施行されます。

KODOMOLOGYのビジョンは「こどもを真ん中にして誰もが健やかに成長できる社会をつくる」こと。男性育休取得の意義を、「パートナーのこころとからだをケアすること」、そして、「男女ともに主体的に育児を楽しみながら、ファミリーキャリアを築ききっかけ」だと考え、KODOMOLOGYイクトレを推進していきます。

【プログラム】

プログラム	対象(目安)	こんなことを知る・身につけることができます！
1 育休制度を知って、ファミリーキャリアについて考えよう！	妊娠初期～中期	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分が取得できる育休時期・期間は？ ● 育休取りづらくない？取ってもキャリアにマイナスにならない？ ★ 育休取得経験者のリアルなお話(動画)
2 妊娠期・出産前後のからだところの変化を知ろう！	妊娠初期～中期	<ul style="list-style-type: none"> ● 妊娠期・出産前後は、普段とからだどころこんな違う！ ● これから何が起きるかを事前に知って準備しておくことがとても大切 ★ 出産という一大プロジェクトを成功させよう！(ワーク) ★ 妊婦スーツを着て、妊婦体験(体験)
3 赤ちゃんのお世話をしてみよう！	妊娠中期～後期	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤ちゃんがいる生活(1週間)はどんな感じ？ ★ 赤ちゃんの一連のお世話(体験) ・・・ミルク・おむつ替え・着替え・沐浴
4 赤ちゃんがかかりやすい病気とケアについて知ろう！	産後1～3カ月	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤ちゃんがかかりやすい病気は？ケアの仕方は？受診の目安は？ ★ ケアのしかた(体験) ● SIDSから赤ちゃんを守ろう ★ CPR(AED)をやってみよう(体験)
5 共働きの生活に向けて準備しよう！	産後1～3カ月	<ul style="list-style-type: none"> ● 共働きが始まったらどんな感じ？ ● 保育園のこと、見学のポイント ★ パパと赤ちゃん、2人でおでかけしてみよう(体験) ★ 「育トレパスポート」ゲット！一時保育利用でパパの自由時間ゲット(体験)

【シンボルマーク】



【パスポート】



【トレーニングのようす】



育休を取得する男性社員をサポートする 「KODOMOLOGYイクトレ」を開始しました

2022/4/8

【賛同メッセージ】

KANGAROOM KODOMOLOGY
SWEDEN

「KODOMOLOGYイクトレ」への賛同メッセージ



治部れんげさん
ジャーナリスト/
東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授

育児や家事など「無償ケア労働」が女性に偏っていることは、世界共通のジェンダー課題であり、G20大阪サミット（2019年）の首脳宣言でも言及されています。特に日本では他の先進諸国と比べて、女性の育児負担が大きいことが問題です。

こうした中、企業が男性の育児参加を促すことは非常に意義深いことです。

「KODOMOLOGYイクトレ」を通じて、より多くのパパが主体的に育児参加し、日本のジェンダー平等に大きなインパクトをもたらすことを期待します。

Copyright©KODOMOLOGY CO.,LTD.

KANGAROOM KODOMOLOGY
SWEDEN

「KODOMOLOGYイクトレ」への賛同メッセージ



宮里暁美さん
お茶の水女子大学
お茶大アカデミック・プロダクション特任教授

喜びも苦労も半分半分！
だから「KODOMOLOGYイクトレ」

誰もがかつて子どもだった。そして出会いがあり親になった。命はそんな風にしてつながっていく。でも親になるのは楽じゃない。みんな初心者マークだから。

そんな悩み深い子育ての救世主はパパ。健やかな子どもの成長にとってパパの育児参加は欠かせない。

子どもは自ら育とうとする存在。頑固でがむしゃらな子どもたちの育ちを支えるために大事なのが「親たちの度量」。大らかさと細やかさ、優しさと厳しさ。支え合い認め合う在り方。何より大事なパートナーシップ。

「KODOMOLOGYイクトレ」の中で見つけてほしいのは、楽しみながら支え合い育ち合うための始めの一歩なのです。

Copyright©KODOMOLOGY CO.,LTD.

本件に関するお問い合わせ先
KODOMOLOGY株式会社 伊藤 かん奈 TEL: 070-3852-2860(直通)
<https://www.kodomology.co.jp/>